

科名 呼吸器内科

対象疾患名 切除不能な進行・再発の非小細胞肺癌

プロトコール名 テセントリク+BEV

Rp	形態	ルート	薬品名	投与量	時刻・コメント	1	・・・	21
1	点滴注	メイン	生食	250mL	ルートキープ 残破棄可	↓		
2	点滴注	側管	テセントリク	1200mg/body	医師の指示通り	↓		
			生食	250mL	専用ルートJY-PF340P52使用 投与前後生食フラッシュ			
3	点滴注	側管	ベバシズマブ	15mg/kg	医師の指示通り	↓		
			生食	100mL				

★1クール=21日

～MEMO～

催吐レベル1(10%未満)

テセントリクは臨床有益性が認められるなくなるまで。ベバシズマブは病勢進行又は容認できない毒性が発現するまで継続。

<テセントリク>

投与速度:初回60分,忍容性良好であれば2回目以降30分まで短縮可

本剤作用機序により、過度の免疫反応による副作用が現れることがある。発現した事象に応じた専門医と連携すること。

特に注意を要する副作用:間質性肺疾患、大腸炎、重度の下痢、肝炎、神経障害、副腎障害、重度の皮膚障害

infusion reaction、重症筋無力症、筋炎、1型糖尿病、甲状腺機能障害、腎障害、脳炎、静脈血栓症

インラインフィルター(0.2または0.22ミクロン)を使用し、投与前後に生食でフラッシュする。

<ベバシズマブ>

創傷治癒遅延の作用により術後28日以内の投与不可

投与速度:初回90分,忍容性良好であれば60分,30分まで短縮可